

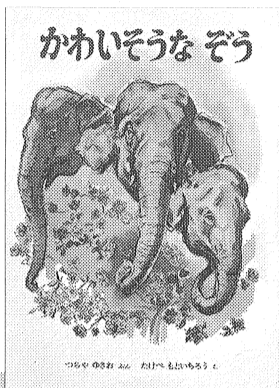
company

老舗児童書出版社を支えるシステム

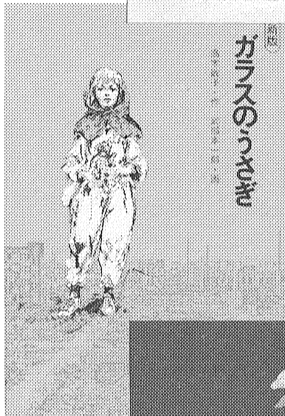
金の星社

13年間利用し安定的な運用を実現

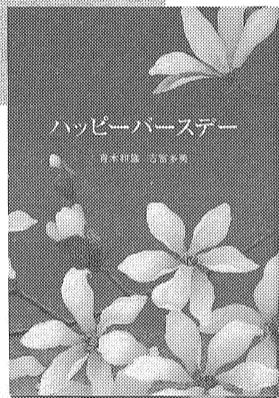
児童書の出版を手掛ける金の星社は、13年ほど前に物流業務を一橋グループの出版ネット&ワークスに業務委託した。同時に光和コンピューターの基幹システムを導入し、現在も安定的に稼働している。



かわいそうなぞう



ガラスのうさぎ



ハッピーバースデー



せんろはつづく

株式会社金の星社  
代表者: 斎藤健司  
資本金: 2500万円  
従業員: 26人  
所在地: 〒111-0056 東京都台東区小島1-4-3  
電話: 03-3861-1861 (代表)

来年創業100周年迎える

同社は1919年11月1日に野口雨情が初代編集長を務め、島崎藤村と有島生馬が監修した童謡童話雑誌『金の船』(のちに『金の星』に改題)を創刊して創業。来年11月には創業100周年を迎える。

これまでに、1970年の刊行以来156万部の『かわいそうなぞう』(つちやゆきお 文/たけべもといちろう 絵)や、1977年に刊行し239万部に達する『ガラスのうさぎ』(高木敏子 作/武部本一郎 画)といった、数々の不朽の名作をはじめとした児童書を中心に出版を続けてきた。

近年でも、いもようこ氏が過去の名作をいまの子どもに届けるために描いた「大人になっても忘れたくない いもようこ名作絵本」、「大人になっても忘れたくない いもようこ世界の名作絵本」、「いもようこの日本むかしばなし」の各シリーズや、あきやまただし氏の「へんしんシリーズ」、鈴木まゐる氏の「せんろはつづくシリーズ」といった、長く読み継がれるロングセラーが数多く登場している。

一般書部門でも売れ筋を刊行

年間の新刊刊行点数は約100点、稼働点数は800点に達する。この中で、わずかだが一般書も少しずつ増えている。

直近でも9月に刊行した『“ふがない自分”と生きる 渡辺和子』(NHK Eテレ「こころの時代〜宗教・人生〜」制作班編)を初版3万部で発売し、すでに重版するなど売れ行きを伸ばしている。

一般書分野は、1997年に刊行した『ハッピーバースデー 命かがやく瞬間』(青木和雄、吉富多美 作/加藤美紀 画)が文芸書として市場を広げたの

が最初で、ここで一般向けの広告展開などのノウハウを得た。

同書はその後文庫、コミック化され、累計154万部に達している。それ以降、母親向けのお弁当、レシピ本など実用書も刊行している。

2005年にシステムと倉庫を変更

以前、同社ではオフコンによるシステムを利用していた。しかし、オフコンは安定してはいたが、帳票の仕様を変えるなど、なにか変更を加えるたびに、時間と費用がかなりかかっていたことと、周りではパソコンを利用したシステムが増えていたこともあって、2005年に新しいシステムへの変更を行った。

また同じ時期に、長年利用していた倉庫会社も、小学館など一橋グループの物流を担う昭和図書が設立したばかりだった出版ネット&ワークスに変更した。

「以前の倉庫会社はあまりシステム化できておらず、出版ネット&ワークスならパートナーとしてアドバイスしてもらえると考えました」と、同社でシステムなども担当する奥津恵市取締役営業管理部部長は述べる。

複数のシステム会社から提案を受けたが、倉庫との連携などの強みもある光和コンピューターを選定。それまでのシステムのやり方も一部引き継ぎつつ、新システムを構築した。

「システム構築した当初は不具合なども発生しましたが、半年ぐらい光和コンピューターの担当者が、日々当社に出社するような感じで通ってくれました」と奥津取締役。

その中で「出版社にはそれぞれ特殊な条件や管理の方法がありますが、こちらの要望を良く聞いてもらえたと思います」という。

倉庫システムと自社システムを併用

出版ネット&ワークスでは数年前、中小規模の出版社に対応して、同社に物流委託している出版社が自社の在庫状況をリアルタイムに確認できる在庫管理webサービス「Porta.web」を稼働させている。金の星社では、取次や生協などの企画で数百冊単位で受注するケースなどでは、すぐに在庫確認する必要があるため、在庫をリアルタイムで確認できる「Porta.web」を利用しながら、受注入力や取次請求など販売管理と、印税支払いなどの業務を光和コンピューターのシステムで行っている。

システムを生かして事業を展開

他の出版社で営業を経験して1991年に入社したという奥津取締役。「当時はパソコンがようやく導入されはじめていましたが、当社も、まだ棚卸をメモ書き算盤で計算していたので、パソコンの利用を提案しました」という時代からシステムとのつきあいが始まった。

そうした経験を通して、「当社の出版活動はふだんに部数を作るというより、限られた資源を実売がとれるところに配置することを目指しています。そのためにPOSデータや取次のデータなどを参照し、営業活動に生かしています」とシステムの有効性を実感している。

来年100周年を迎える老舗の児童書出版社として、これからもシステムの有効な活用方法を探っていく考えだ。



奥津取締役

出版セミナー開催!!

出版業界インフラ創造 = 新サービスの登場です!!

平成30年

11月8日(木)

無料 13:30 ~ 16:30 (開場 13:00) (予定)

定員 150名

会場 神保町「出版クラブビル」3F (千代田区神田神保町1-32 神保町駅下車2分)

事務局 (お問合せなど) 光和コンピューター ソリューション営業部 石橋・小堀・小林

お申込 ホームページに掲載予定の申込書をダウンロードし、FAXまたはメールにてお申込み。

第30回光和出版セミナー  
出版社と書店を結ぶ  
新サービスのご案内

KPRO  
近刊情報マルチ登録サイト

書籍情報発信をもっと簡単に

複雑に絡み合った本のネットワークを整理、近刊情報の登録作業の手間を大幅に軽減します。また、取次様、書店様へ近刊情報活用・管理・発信できるサービスをご利用できます。

- 《主な機能》
- 書籍データ管理
  - JPROへ自動登録
  - TRC近刊情報掲載
  - プロモーションFAX
  - 書籍掲載情報の表示
  - 出版ERPデータ連携

たなづくり

売れる本棚作りと簡単発注

売れ行き良好本、定番商品の欠品を減らし販売機会の損出を減らします。またお客様の動向を調査・情報蓄積をし本当に求められている理想の本棚を作ります。

- 《主な機能》
- 商品情報アップロード
  - 補充一覧表情報アップロード
  - 発注データダウンロード
  - 発注入力
  - 抜取リスト

KOWA COMPUTER 株式会社光和コンピューター  
東京都千代田区岩本町3-1-2 岩本町東洋ビル

WEB http://www.kowa-com.co.jp

E-MAIL kowa@kowa-com.co.jp

TEL 03-3865-1981 (担当 石橋・小堀・小林)

お気軽にお問合せください